

札幌市の交通に関する取組の紹介

●平成 25 年度の主な取組

◇【公共交通全般】 ICカードの利便性向上

[拠点まちづくり支援・都心まちづくり支援・観光促進・環境負荷低減促進パッケージ]

★「SAPICA」が、地下鉄に加えてバスや市電でも利用できるようになりました。

(平成 25 年 6 月 22 日)

『SAPICA』で乗車できる札幌市内発着の公共交通

地下鉄：全線

路線バス：JRバス・じょうてつバス・北海道中央バス

市電：全線



★『SAPICA』利用可能エリアで、他の交通系 IC カードが利用できるようになりました。

(平成 25 年 6 月 22 日)

★『SAPICA』で地下鉄に加え、バスと市電の定期券サービスを開始しました。

(平成 26 年 2 月 20 日)

★『福祉割引 SAPICA』のサービスを開始しました。(平成 26 年 2 月 20 日)

◇【路面電車】 低床車両導入

[都心まちづくり支援・観光促進・環境負荷低減促進パッケージ]

★路面電車の新型低床車両『ポラリス（愛称）』を 2 両製造しました。

(運行開始日：平成 26 年 4 月 30 日/平成 26 年 5 月 14 日)

「新型低床車両」の特徴

- ・ 車内の床には段差が無く、地面から床までの高さは従来よりも 50 cm 程低くし、乗り降りをしやすくする
- ・ 窓が大きくなり、車窓から広がる四季折々のまちの景色が楽しめる
- ・ 乗車定員が従来より約 2 割アップ
(既存車両 60 人 ⇒ 新型車両 71 人)



◇【徒歩】 歩道バリアフリー化の推進

[拠点まちづくり支援・都心まちづくり支援・観光促進パッケージ]

★札幌狸小路商店街の道路を『歩きやすい道路』に改良しました。

「整備概要」

- ・ 道路の急勾配を改善
(アーケード柱間の横断勾配を 1 % 程度)
- ・ 舗装面は、滑りづらい『御影石』
(整備前はタイル)
- ・ 『点字ブロック』を車道中央に敷設し、その両側に黒・灰色の御影石を設置して色のコントラストをつけることで弱視の方からも見やすくする



●平成 26 年度の主な取組

◇【バス】 地下鉄東豊線栄町駅交通広場の整備

[拠点まちづくり支援・環境負荷低減促進パッケージ]

★平成 26 年 12 月 1 日に、バス乗降場・待合所と駐輪場からなる栄町駅交通広場がオープン



栄町駅交通広場のポイント

- ①バス乗降場・待合所の整備による公共交通の利便性向上
- ②駐輪場の整備による周辺道路の歩行環境改善
(駐輪台数：460 台)



◇【徒歩】 大通交流拠点地下広場の整備（都心の骨格構造の強化・検討）

[都心まちづくり支援・観光促進パッケージ]

★平成 26 年 12 月から、地下鉄南北線大通駅のコンコースに「大通交流拠点地下広場」が順次オープン

地下広場の整備方針

- ①歩行者通行量の増加や、歩行者動線と施設利用者の待ち行列の交錯による混雑を解消し、円滑な人の流れと見通しを確保
- ②滞留機能・利便機能を備え、人々が豊かな時間を過ごすことができる広場を形成
- ③都心の中心にふさわしい質の高い空間を形成



◇【徒歩】 北 3 条広場の整備

[都心まちづくり支援・観光促進パッケージ]

★平成 26 年 7 月 19 日に、北海道庁赤れんが庁舎前から札幌駅前通までの北 3 条通の一部が「北 3 条広場」（愛称：アカプラ）となって新たにオープン



北 3 条広場のポイント

札幌の歴史や自然を感じる憩いの空間

：空間活用の 3 つのコンセプトを定め、居心地の良い落ち着いた憩いの空間の提供を図っています。

[空間活用のコンセプト]

- ①大人の文化を享受できる空間
- ②札幌の美しさを感じられる空間
- ③四季を通じて憩い楽しめる空間

●平成 27 年度の主な取組

◇【自転車】自転車走行空間の明確化

[拠点まちづくり支援・都心まちづくり支援パッケージ]

★西5丁目線自転車通行空間社会実験を実施（平成27年10月13日～10月31日）



実験概要

実施区間：西5丁目線（北1条～南4条）
（L＝約750m）

実施主体：札幌都心部自転車対策協議会

実施内容：自転車の車道通行を促し、歩道の歩行者の安全性を向上させるため、自転車通行位置を明示

停車車両と自転車の共存を図るため、自転車が停車車両を追い越す際の安全対策を想定し、全国で初めて大型矢羽根（ブルーウィング）を設置

◇【路面電車】既存線のループ化・延伸検討

[都心まちづくり支援・観光促進・環境負荷低減促進パッケージ]

★平成27年12月20日より路面電車ループ化（都心線）開業

事業概要

- 都心の賑わいの軸である札幌駅前通で、西4丁目停留場とすすきの停留場を結ぶ
- 歩道側を走行する整備（サイドリザベーション方式）を行うとともに、狸小路付近には新たな停留場を設置

事業区間：西4丁目停留場～すすきの停留場

事業延長：約400m



・ループ化後は、対前年比で1日当たり2,000人を超える増加（平成28年12月時点）



約400m

西4丁目停留場

すすきの停留場

狸小路停留場

新たな停留場

※新しい停留所(●)は3ヶ所できます。

●平成 28 年度の主な取組

◇【公共交通全般】「えきバス・ナビ」の利便性向上

[拠点まちづくり支援・都心まちづくり支援・観光促進・環境負荷低減促進パッケージ]

★地下鉄やバスの交通案内サイト「さっぽろえきバス navi」がリニューアル

さっぽろえきバス navi とは…

「さっぽろえきバス navi」は、乗継も含めて経路検索、地図上での経路表示など札幌市の公共交通機関を便利にご利用できるサービスです。

PC、スマートフォン、タブレット端末などにご利用いただけます。

<リニューアルの主なポイント>

- 地図上で出発地と到着地を指定して経路を検索できる。
- 交通機関と出発地、到着地までの徒歩での経路・移動時間が分かる。
- スマートフォンの画面に対応したページができ、より見やすく。



スマートフォンによる経路検索

◇【自動車（道路網）】環状道路未整備区間の整備（西野真駒内清田線、環状通、札幌新道）

[観光促進・広域連携パッケージ]

★平成 29 年 2 月 3 日に盤溪北ノ沢トンネル（道道西野真駒内清田線）が開通

事業概要

事業区間：中央区盤溪～南区北ノ沢

事業延長：2.8 km（うちトンネル部：1.6 km）

道路幅員：一般部13m、トンネル部10m

